

【成果と課題】

【成果】

- ◎低学年からICT機器に触れる学習を多く取り入れたので、児童はかなり慣れてきた。また、もっと上手に活用できるようになりたい!という願いも出てきた。
- ◎校内研究を通じて、各学年・学級で考えた目指す児童像の姿までになることができた。
- ◎自分の考えをもつ、学習計画をすすめていく、表現するためにICT機器を活用するよさは感じていた。
- ◎「学習の振り返り等」の時間を確保したことは学習の高まりにつながり、友達とも共有できた。また、スプレッドシートの活用も効果的であった。
- ◎どの教師も、タブレットを活用する授業づくりが当たり前となった。
- ◎1学期を中心に行った全体での「ICT研修会」やOJTとして「ICTミニ研修会」は、教師のスキルアップに効果的であった。

【課題】

- ◎単元によっては、ICT活用で個人作業になりやすく、「伝え合いの時間の確保」や授業中の見取りの難しさがあった。
- ◎低学年のころから、段階的にタブレットに触れる学習機会を増やしていく。また、教師のICTを活用した指導力も、ともに高めていく。
- ◎ICTを活用し多くの情報から自分に合った情報を選択することは、系統的に学習を積み重ねていく必要がある。また、本当にその情報が合っているのかを見極める「情報リテラシー」の力も、ともに高めることが大事になる。
- ◎教科や単元に合ったICT活用の仕方、「学習の振り返り等」のさせ方、についてはデジタル(タブレット)とアナログ(ノート)のどちらを活用したらよいのかも含めて選択していくことが大切である。

◇研究主題:『自ら考え、伝え合い、学びを深める児童の育成』は、今年度は難しい点があった。

理由として、まず児童へICT機器に慣れさせること、教師は授業で活用させることに重点を置いたためである。また、「児童が自ら考え」をもつような手だてをとってきたが、常にという姿まで求めることに課題がのこった。ICTを活用して事前に自分の考えをもって「伝え合う」活動については、自信をもち活発に活動する姿が見られた。